

# NDSの社内報「NDAYS」11月号に掲載されました！

## アンピン見聞録 Vol.34

グループ会社の「安全」への取り組みを、様々な方の視点で「見聞」する「アンピン見聞録」。第34回となる今号では、「安全で安心して働ける環境を皆と共に作りたい」と真剣に語る、豊橋NDS株式会社の芦沢 誠社長の目線に注目します。

### グループ会社 社長の本音

## 「事故もケガもない、当たり前」の毎日」を続けるため、 全員参加で豊橋NDSの安全文化を強化！

### PROFILE

氏名 ふりがな あしざわ まこと  
芦沢 誠

会社名 豊橋NDS株式会社 代表取締役社長

#### 略歴

昭和47年3月 日本電話施設株式会社(現NDS) 入社  
平成17年7月 豊橋支店 岡崎営業所長  
平成18年6月 豊橋支店 エンジニアリング部長  
平成23年6月 豊橋支店 副支店長  
平成24年6月 NDS大協株式会社(現豊橋NDS) 代表取締役社長



芦沢社長の  
安全  
モットー！

- ①現場をよく見て現場目線の安全を！  
(事故は現場で起きている)
- ②管理者は事故を起こさせない考動、  
作業者は事故を起こさない考動を心がける！
- ③安全は全員活動！(SSVによる声掛け運動展開中)

### 月平均100件以上の安パト実施を達成！

全員参加の安全パトロールまであと1歩と迫っています。

「安全教育や情報が本当の意味で周知され、守られているか、それを確かめられるのは現場しかない」との強い想いがあり、豊橋支店時代から安全パトロールの重要性を訴えてきました。その結果ここ5年、実施件数が右肩上がり増え続けています。最近では月平均100件以上の安全パトロールが実施されるようになり、「全員参加の安全パトロール」まであと一歩のところまで迫ってきました。また、この夏は管理者や総務部まで現場とコミュニケーションを取って「熱中症予防」活動を展開。これにはSSVによる「声掛け運動」の効果も大きかったと考えられます。今後もアクセス事業部、ユーザーサービス部(2名)、安全品質管理部、計4名のSSVがタッグを組み、現場の皆と共に柔軟な発想で安全施策を推進し、豊橋NDSの安全文化を強化していきたくないと、期待を持って応援しています。



管理者や総務部が現場とのコミュニケーションを深めた結果、総務主導で熱中症予防の飲み物サポートが実現

### 交通安全への取組が現場作業の安全まで波及！

車社会の安全は「事故は絶対に起こしてはいけない」とひとり一人が強く自覚し、危険を予知し、ルールを守るからこそ成立します。現場の安全も同じです。そこで、社員の多くが車通勤をしていることもあり、社長就任を機に全社的な取組みとして交通安全活動を推進。例えば、皆の協力のもと過去1年間の事故について細大漏らさず申告してもらい、そこから事故傾向や不安全運転の原因を解析し、結果を発表して当社ならではの事故防止対策を工夫しています。最近では実際に業務内でも交通事故の発生件数が激減。さらに、現場での事故・クレームも目に見えて減るという波及効果まで。交通安全と現場の安全を作業者自らが納得する形で結びつけ、考動してくれた成果と感謝しています。



愛知県交通安全協会豊橋支部に入会し、地域の交通安全イベントにも協力する等、安全運転管理モータル事業所として社の内外で活動中。



芦沢社長の安全モットーにもあります、「安全は全員活動」という言葉はとてもいい言葉だと思いました。作業者任せではなく、みんなで安全を考えるという風土があれば、事故は必ず減っていくものだと思います。

豊橋NDS株式会社の芦沢社長、ご協力ありがとうございました。次回は「SSV最前線」をお届けします。